人が輝く 講座・教室・催し

暮らし　健康・福祉　子ども　仕事・産業　税金・国保　文化・スポーツ　イベント　区政その他　ぽけっと（区主催以外）

内＝内容　種＝種別　対＝対象　定＝定員　費＝費用　持＝持ち物　申＝申込み　問＝問合せ

区分	名称	とき	ところ	対象・定員・費用・申込み・問合せ等
仕事・産業	**早稲田大学「地域を経営するゼミ」大プレゼンテーション大会**	平成26年1月16日（木）午後6時～7時半　＊報告会終了後、希望者のみの懇親会（1時間程度）あり	すみだ産業会館（江東橋3－9－10）	内 区内全域をキャンパスに見立てて1年間活動してきた、早稲田大学の「地域を経営するゼミ」のゼミ生による活動報告会　費 無料　＊懇親会参加者は会費1000円が必要　申 事前に催し名・氏名・電話番号・ファクス番号、勤務先の名称・業種、懇親会への参加希望の有無を電話または、ファクス、Eメールで、すみだ中小企業センター ☎3617－4351・FAX3617－4340・✉webmaster@techno-city.sumida.tokyo.jpへ
	未来マネジメントスクール	平成26年2月4日（火）・18日（火）午後6時半～8時半	すみだ中小企業センター（文花1－19－1）	内 ▶2月4日＝組織戦略や人材育成について学ぶ　▶2月18日＝営業力を強化する方法について学ぶ　対 区内中小企業の経営者やその後継者、区内での起業を希望する方など　定 各日20人　＊定員を超えた場合は区内在住在勤者を優先　費 各日500円（資料代）　申 講座名・希望日・氏名、勤務先の名称・所在地・電話番号・ファクス番号・業種を電話または、ファクス、Eメールで26年1月27日までに、すみだ中小企業センター ☎3617－4351・FAX3617－4340・✉school@techno-city.sumida.tokyo.jpへ
文化・スポーツ	**すみだ観光ガイドが案内する「隅田川七福神めぐり」**	平成26年1月3日（金）～5日（日）午前10時半～午後1時半　＊集合は午前10時20分　＊荒天中止	【集合場所】吾妻橋観光案内所（吾妻橋1－16－1）	内 観光ガイドとともに、三囲（みめぐり）神社や長命寺などの隅田川七福神をめぐる　定 各日先着20人　費 各日500円（保険料込み）　申 事前に希望日、代表者の住所・氏名・電話番号、参加人数を往復はがき、または、ファクスで墨田区観光協会（〒130－0001吾妻橋3－4－5）☎5608－6951・FAX5608－7130へ　＊墨田区観光協会のホームページからも申込可
	体幹トレーニング講座	平成26年1月13日（祝）午後3時15分～5時45分	区総合体育館（錦糸4－15－1）	内 スポーツでの競技力向上やケガの予防に役立つ体幹トレーニングの方法について、実技を通して学ぶ　対 高校生以上　定 先着25人　費 無料　申 事前に講座名・住所・氏名・電話番号を電話または、ファクス、Eメールで区総合体育館 ☎3623－7273・FAX3623－7283・✉sumidagym@n-reco.co.jpへ　＊申込みは26年1月11日まで
	「バレーボール体験イベント（観戦チケット付き）」＆「V・プレミアリーグ試合観戦」へ無料招待	▶体験イベント＝平成26年1月25日（土）午前11時半～午後1時、1月26日（日）午前10時半～正午　▶試合観戦＝26年1月25日（土）午後2時～、1月26日（日）午後1時～		種 ▶体験イベント・試合観戦　▶試合観戦（アリーナ席）のみ　内 ▶体験イベント＝FC東京によるバレーボール教室　▶試合観戦＝〝FC東京 対 JTサンダーズ戦〟（1月25日）、〝FC東京 対 東レアローズ戦〟（1月26日）の観戦　対 区内在住在勤在学の方　定 ▶体験イベント・試合観戦＝各日20人（抽選）　▶試合観戦のみ＝各日5組10人（抽選）　申 種別・希望日・住所・氏名・年齢を往復はがきで26年1月17日（必着）までにFC東京バレーボールチーム事務局「V・プレミアリーグイベント係」（〒135－0003江東区猿江2－15－10）☎3635－8955へ　問 スポーツ振興課スポーツ施設担当 ☎5608－6588
	区民体育祭「スキー大会」	平成26年1月26日（日）午前10時～午後3時　＊受付は午前9時～	湯沢高原・布場スキー場（新潟県南魚沼郡湯沢町湯沢490）　＊現地集合・現地解散	種 ▶回転競技＝男子（青年・成年）・女子の部　▶公開競技＝ジュニア（小学生）の部　対 区内在住在勤在学で傷害保険等に加入している方　費 ▶回転競技＝1000円　▶公開競技＝無料　申 12月24日～26年1月15日に、スポーツ振興課スポーツ振興担当（区役所11階）☎5608－6312へ　問 墨田区スキー連盟 神野 登美夫 ☎090－4748－9187　＊スキー用ヘルメットを持参
イベント	**新春「白玉お汁粉サービス〝今年もハッピーに過ごしましょう!!〟」**	平成26年1月7日（火）午前11時～　＊なくなり次第終了	立花ゆうゆう館（立花6－8－1－102）	対 区内在住在勤の方　定 先着100人　費 無料　申 当日直接会場へ　問 立花ゆうゆう館 ☎3613－3911
	伊豆高原荘「伊豆らんらん倶楽部バスツアー」	▶平成26年2月5日（水）～7日（金）　▶26年2月11日（祝）～13日（木）　▶26年2月18日（火）～20日（木）　＊いずれも2泊3日	【宿泊先】伊豆高原荘　＊区役所玄関前に午前9時集合または、ロッテシティホテル錦糸町（錦糸4－6－1）前に午前9時10分集合	内・費 ▶2月5日出発＝横浜中華街の散策、「南伊豆アロエセンター」の見学など・1万9800円　▶2月11日出発＝「熱海梅園」の見学、河津桜の観賞など・2万円　▶2月18日出発＝「富士山樹空の森」の散策、河津桜の観賞など・1万9800円　＊区内在住在勤者は100円引き　＊昼食代は別途自己負担　定 各先着40人　申 12月21日午前9時から電話で伊豆高原荘 ☎0557－54－1108へ

いきいきすみだ 募集

暮らし　健康・福祉　子ども　仕事・産業　税金・国保　文化・スポーツ　イベント　区政その他

内＝内容　種＝種別　対＝対象　定＝定員　選＝選考方法　費＝費用　持＝持ち物　申＝申込み　問＝問合せ

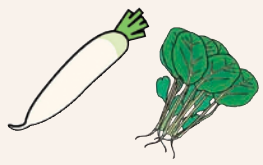
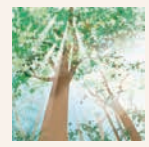
区分	名称	内容・対象等	申込み・問合せ等
仕事・産業	**平成26年度墨田区社会福祉事業団常勤職員（福祉職・医療職）の募集**	内 知的障害者、心身障害児、高齢者等を対象とした事業における介護・看護・生活支援や相談援助、施設運営事務など　種・対 ▶福祉職＝社会福祉士、介護福祉士、保育士のいずれかの資格がある方　▶医療職＝保健師または正看護師の免許を有する方　【採用数】各若干名（選考）　選 ▶福祉職＝書類選考および筆記試験、面接　▶医療職＝書類選考および面接　＊書類選考合格者には筆記試験（福祉職のみ）と面接を平成26年1月18日（土）・19日（日）に実施	申 履歴書（応募職種を記入）と、応募動機や仕事に対する考え方をまとめた作文（1200字程度で書式自由）を直接または郵送で26年1月4日（必着）までに墨田区社会福祉事業団（〒131－0033向島3－36－7）☎5608－3719へ　＊詳細は問い合わせるか、墨田区社会福祉事業団のホームページを参照
区政その他	**男女共同参画推進委員の募集**	内 男女共同参画推進委員会での区の施策に対する意見・提案や、区民への啓発　＊謝礼あり　対 区内在住の方　【委嘱期間】区長が委嘱した日～平成28年3月31日　【募集数】2人（選考）　選 書類選考	申 住所・氏名・年齢・電話番号・性別・職業、応募動機（800字程度で書式自由）を直接または郵送、Eメールで26年1月23日（消印有効）までに、〒130－8640人権同和・男女共同参画課男女共同参画担当（区役所12階）☎5608－6512・✉JINKEN@city.sumida.lg.jpへ

☎＝電話　FAX＝ファクス　✉＝Eメール　🖳＝ホームページアドレス

人が輝く 講座・教室・催し

暮らし　健康・福祉　子ども　仕事・産業　税金・国保　文化・スポーツ　イベント　区政その他　ぽけっと（区主催以外）

内＝内容　種＝種別　対＝対象　定＝定員　費＝費用　持＝持ち物　申＝申込み　問＝問合せ

区分	名称	とき	ところ	対象・定員・費用・申込み・問合せ等
暮らし	社会保険労務士による無料相談	12月25日（水）午後1時～4時半　＊毎週水曜日に開催（祝日・年末年始を除く）	区役所1階区民相談コーナー	内 各種年金・労務管理等に関する相談　申 当日直接会場へ　問 ▶すみだ区民相談室 ☎5608－1616　▶東京都社会保険労務士会墨田支部広報担当 ☎3617－5035
	マンション管理士による無料相談	平成26年1月11日（土）午後1時～4時　＊毎月第2土曜日に開催	区役所1階エスカレーター横	対 区内のマンション管理組合・居住者等　申 当日直接会場へ　問 住宅課計画担当 ☎5608－6215
	よりどりミドリプログラム「秋冬野菜の収穫祭」 	平成26年1月12日（日）午後1時半～3時半	すみだ環境ふれあい館（文花1－32－9）	内 すみだ環境ふれあい館で育てた秋冬野菜の収穫　定 先着15人　＊小学校3年生以下は保護者の同伴が必要　費 無料　申 12月21日午前10時から催し名、参加者全員の氏名・年齢、代表者の電話番号を直接または電話、Eメールで、すみだ環境ふれあい館 ☎3611－6355・✉kankyou-fureaikan@song.ocn.ne.jpへ　＊受付は午前10時～午後5時（水曜日・年末年始・26年1月6日を除く）　＊汚れても構わない動きやすい服装で参加　＊当日、空きがあれば会場でも申込可
	はじめての手話教室「会話の世界をひろげる一歩」（全3回）	平成26年1月14日・21日・28日いずれも火曜日午後2時～4時	社会福祉会館（東墨田2－7－1）	対 区内在住在勤の方　定 先着20人　費 無料　申 12月21日午前10時から社会福祉会館 ☎3619－1051へ
	樹木の適正管理講習会「私にもできる〝樹木手入れのコツ〟」	平成26年1月19日（日）午前10時半～11時半	緑と花の学習園（文花2－12－17） 	内 樹木の生育環境や健康状態に合わせた維持管理方法について学ぶ　対 区内在住在勤の方　定 先着15人　費 無料　申 12月24日午前9時から環境保全課緑化推進担当（区役所14階）☎5608－6208へ
	リサイクル手作り講座「みやびなプチ内裏雛（だいりびな）」	平成26年1月23日（木）午後1時～3時半	すみだ環境ふれあい館（文花1－32－9）	対 区内在住在勤在学の中学生以上　定 20人（抽選）　費 400円（材料費込み）　持 裁縫道具、ものさし、はさみ、筆記用具等　申 住所・氏名・年齢・電話番号を往復はがきで26年1月8日（必着）までに、すみだリサイクル活動センター（〒130－0003横川5－10－1－111）☎5611－7740へ　＊抽選の結果は26年1月15日ごろに返信
	第4回エコライフ講座「クッキング体験講座〝エコ de おいしいクッキング〟」	平成26年1月24日（金）午後2時～4時	すみだ中小企業センター（文花1－19－1）	内 大豆から豆腐作りをするとともに、その過程でできたオカラで料理を作る　対 区内在住在勤の方　定 先着25人　費 300円（材料費）　持 エプロン、三角巾　申 12月24日午前9時から環境保全課環境管理担当（区役所14階）☎5608－6207へ
健康・福祉	「すみだハート・ライン21」・「ミニサポート事業」の事業説明会と入門研修	平成26年1月15日（水）午後2時～4時	すみだボランティアセンター（東向島2－17－14）	対 地域の支え合いに関心があり、熱意を持って家事援助などの活動に協力してくださる18歳以上の健康な方　定 先着20人　費 無料　申 事前に電話で、すみだハート・ライン21事業室 ☎5608－8102へ　＊協力会員への登録方法の詳細は申込先へ
	介護者教室「古武術介護講習会」	平成26年1月17日（金）午後1時半～3時半	すみだ福祉保健センター（向島3－36－7）	内 介護中の身体への負担を軽減するヒントについて古武術から学ぶ　対 区内在住在勤の方　定 先着20人　費 無料　申 12月21日午前9時から電話で、すみだ福祉保健センター ☎5608－3712へ　問 高齢者福祉課相談係 ☎5608－6175
	介護予防のための「フットケア講演会〝足元の健康から元気な生活を！〟」	平成26年1月20日（月）午後2時～3時半	区役所会議室121（12階）	内 足のトラブルを予防・改善するための方法について学ぶ　対 区内在住で65歳以上の本講演会未受講者　＊足の爪や足を治療中の方を除く　定 先着40人　費 無料　申 12月24日午前9時から電話で高齢者福祉課相談係 ☎5608－6178へ
	高齢者の籐（とう）工芸教室「籐で作るおひな様」（全4回）	平成26年1月25日～2月15日の毎週土曜日午後1時半～3時半	立花ゆうゆう館（立花6－8－1－102）	対 区内在住在勤で60歳以上の方　定 12人（抽選）　費 1500円（材料費）　申 12月25日までに立花ゆうゆう館 ☎3613－3911へ

発見！すみだの誇り㊻

すみだの暮らしとともにあり続ける豊かな流れ
隅田川

「発見！すみだの誇り」では、現在・過去・未来を問わず、すみだが誇れるまちの魅力をご紹介しています。
[問合せ] 広報広聴担当 ☎5608－6223

隅田川と聞いて、桜並木や花火大会を思い浮かべる方は多いのではないでしょうか。これらの起源は、江戸時代まで遡（さかのぼ）ります。

現在も多くの人が訪れる隅田川の桜並木は、江戸幕府4代将軍・徳川家綱が、木母寺の境内にあった「隅田川御殿」の跡地に桜を植えさせたのが始まりとされています。その後、享保2年（1717年）に、8代将軍・吉宗が墨堤に100本の桜を植えさせたことで、隅田川は庶民も楽しめる花見の名所として人気が高まりました。このころには、「隅田川花火大会」の起源となる「両国川開き」で花火が打ち上げられるようにもなりました。花見や花火の時期には、舟遊びを楽しむ人々で川面（かわも）が埋め尽くされたようです。

また、隅田川は、作家・芥川 龍之介の「大川の水」や区民の愛唱歌となっている滝 廉太郎作曲の「花」をはじめ、多くの文化・芸術作品に登場します。こうしたことからも、隅田川は常に人々の生活とともにあったことが感じ取れます。

しかし、近代化の流れに飲み込まれた隅田川は、私たちの生活が便利になったのと引き替えに、人々の〝憩いの場〟としての輝きを失っていきました。特に、昭和の高度経済成長期には、家庭や工場からの排水による深刻な水質汚染や、いわゆる〝カミソリ堤防〟の設置で川とまちとが分断されたことなどにより、一時は人々の〝隅田川離れ〟が起きたこともありました。

その後、川に親しむ環境が少しずつ見直されたことにより、現在は水質の改善や親水テラス等の整備が進んできました。これにより、春の桜、夏の花火、さらには、水上バスや屋形船、レガッタなどを楽しむため、隅田川には多くの人が集まり、かつての賑わいを取り戻しつつあります。いつの時代も人々の生活を支え、愛されてきた隅田川は、まさに〝すみだの誇り〟です。四季折々、様々な表情を見せる隅田川と向き合い、これからも大切にしていきましょう。

三代広重・芳幾画「隅田川花の賑わひ」